

12/20/2013

万博“白タク”可能に

ライセンス 安心・安全切り捨ても

規制改革推進会議

規制改革推進会議
政府の「規制改革推進会議」(議長=富田進会議)(議長=富田進会議)(議長=富田進会議)
が26日、首相官邸で開いた会合で、タクシー
会社に運行管理の責任を負わせる「ライバーアジア」の一報解説や、
一般ドライバーが自家用車で有償運送する「ハイドロ」は、

道路運送法で「田タク行為」として禁止されています。国土交通省は20日の「トシタル行政改革会議」(議長＝岸田文雄首相)の中間とりまとめで、同法で規定的に例外を認めた「公共の福祉」を目的としたライドシェアを、タクシー会社が運行管理の責任を負う形で容認しました。国交省案では、タクシー配車アプリのデータなどを根拠に、供給が必要に適い付かない地域、時期、時間帯に限ると、一定の歟止めをかけていましたが、今回の中間答申ではさじて、「タクシー不足か」合理的に予測される場合を含む」の一文を加え、万博などのイベント

トで訪問客が急増することを想定すれば、実質的に無制限にハイドシェアを拡大できるよう改悪しています。

厚生労働省は5月に、「べき地に限ってオンライン診療のための医師非常駐の診療所を開設可能となるよう医療法の運用を見直しました。中間答申では年内に、べき地が否かを問わず、患者の必要に応じ、都市部を含めいずれの地域でもいつしか診療所を開設可能とする方針です。

介護ロボットやICT機器の活用を先進的に取り組む介護付き有料老人ホームで2024年度から、人員配置基準を10%緩和します(現行利用者3

人に付与1人を3・3
人に付き1人に緩
和)。国の実証事業の
結果を踏まえ、適用対
象となる高齢者施設
を、次期介護報酬改定
を待たずして拡大する方
針です。